

新年の御挨拶

東京都なぎなた連盟

会長 小坂 一郎



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはお元気で新年をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

昨年一年間はコロナウイルスの蔓延
で、全国的に大変な状況で、特に東京
都は他府県よりも多くの感染者が出て
しまい、死亡者も多数出ました。

オリンピック、パラリンピックも一
年の延期となり本年の開催予定となっ
ております。ワクチン接種が行われ、
感染者数の減少がなければ開催も出来

るかどうか心配です。

種々のスポーツ関係の大会も中止や
無観客での開催等、昨年は影響が出て
おります。本年も昨年と同様の事が起
るかもしれません。

東京都なぎなた連盟も諸々の催しや、
総会、或いは大会、錬成会等、本年も
中止になるかも知りませんが、皆々様
には体力の維持、技術の向上に努めて
頂き、一人ひとり鍛錬を積んで頂くこ
とを願っております。

一刻も早くコロナが終息し、大会や
総会等が開催され、皆様とお会い出来
ますことを願っております。



祝 受賞

令和2年度

公益財団法人 東京都体育協会表彰
生涯スポーツ功労者

木本 佐知子

(東京都なぎなた連盟推薦)

令和2年5月

令和2年度前期審査会

審査委員長 西郷 恵子

昨年初めの頃より新型コロナウイルス
感染症の感染が拡大となり、国は緊
急事態宣言を発令、なぎなた連盟も多
くの事業中止を余儀となりました。

その様な中、会員にとり最重要事業
である標記審査会は、綿密な準備と対
策を得て、9月13日(日) 東京武道館に
於いて実施となりました。

この度の審査会では感染予防策とし
て会場の広さを勘案、最大50名迄の3
部制実施を決定、審査結果は後日各区
市連盟に通知する事で、会場内での密

集の回避と併せて諸手続きの煩雑も解
消致しました。

当日受審された会員の皆様は、通常
とは異なる運営にも関わらず、整然と審
査に臨んでいました。

充分な環境での稽古が得られない中
マスク着用での実施となりましたが、
基本正しいなぎなたを目指して真剣に
集中して行なわれました。

合格された方は、今後も慢心する事
の無い様、惜しくも不合格となった方
は、次回迄に更なる稽古を積み、一層
の精進努力をお願い致します。

コロナ禍の中、審査会が皆様のご尽
力で無事終了しました事、感謝申し上
げます。

令和2年度前期審査会

期日 9月13日(日)

会場 東京武道館

受験者134名 欠席者2名

級・段位	少年	一般	学連	合計
四段		2		2
三段		1	3	4
二段	5	6		11
初段	47	3	2	52
1級	6	1		7
2級	2			2
3級	9	3		12
4級	6	2		8
5級	14			14
6級				
7級	1			1
合計	90	18	5	113

追悼

東京都なぎなた連盟顧問

範士 日下秀子先生を偲んで



《受賞歴》

昭和58年 (財)東京都体育協会表彰
体育功労者

平成4年 東京都教育委員会表彰
体育功労者

平成8年 東京都知事表彰
社会教育功労者

平成9年 (財)日本体育協会表彰
公認スポーツ指導者功労賞

平成17年 文部科学大臣表彰
生涯スポーツ功労者

平成23年 日本体育協会
日本オリンピック委員会表彰
創立100周年功労者

平成25年 日本武道協議会表彰
武道功労者

杉並区なぎなた連盟

理事長 高橋 聖子

令和2年10月26日私共連盟指導者の日下秀子先生が逝去されました。

先生は九十六年のご生涯の大半八十年の時を薙刀一筋に歩んでこられた。薙刀への情熱はいつも燃えたぎる様でした。先生がこれから作り上げられた杉並区なぎなた連盟は、昨年46年を迎えました。最盛期には区内に9か所のお稽古場を開設、先生は意欲的に指導に当たられておられました。

先生の凛とした構え姿、気迫のこもった勢いのある打突、どれもが素晴しく、今でも目に焼き付いております。

先生のモットーは「日々新たなお稽古」でした。時代が岐路を迎えても「日々これ新たななり」の精神で精進するようにとの教えを受けました。大黒柱を失い寂しい限りですが、会員全員で先生の教えを守り、日々お稽古をします。ご指導有難うございました。



第43回なぎなた古流研究会

期日 令和3年1月23日(土)

会場 東京武道館

参加者 50名

講師 関根 恵児 先生
顕原 和代 先生

直心影流薙刀術 関根 恵児

去る1月23日、東京都なぎなた連盟主催古流研究会が、無事終了。コロナ



旋風の吹き荒れる中、色々な事を学ばせて頂きました。

一、充分に動けない時に、動ける身体を維持する工夫をする実践。

二、基本技を身に付け、自分の技を相手に正しく伝え、相手の技をしつかり受け止め、形として表わす稽古。

園部秀雄先生が、多数ある形を基本から応用技へと発展させ、まとめられた25本の中から3本を稽古し、その気の入った成果を、最後に天道流の方々と交互に確かめ合う事ができました。

諸制約の中、理事長谷本良子先生の前向きの姿勢と、マスク着用・室内換気・三密防止等、終日御配慮賜りありがとうございました。

天道流薙刀術 顕原 和代

標記研究会が長引くコロナ禍の中、検温、消毒、マスク着用、理事長立合のもと行われました。43回目が途切れることなく行われたことは嬉しいことでした。

我が国の伝統文化の古流を、厳しい修業で習得された亡き先生方の足元にも及びませんが、教えを次へ継承する事が私達の役目と思っております。技

を正しく、理合を理解し、相手とのやり取りを実践するのはなかなか難しいことですが、皆マスクの中の目がキラキラしていました。終りの30分を発表会とし、各流派3班が交互に形を披露し、お互いに新鮮な感覚で拝見でき、程よい緊張感のある会となりました。



目黒区 大越 万里子

念入りの準備運動の後、直心影流は関根先生のご指導のもと、団体基本と切り返しを行ったのち班ごとに分かれ、それぞれの課題に取り組みました。

密にならないように、短刀や近距離の技を控えた稽古では、基本的な手の内の締めから気を抜いてしまいがちな肘や脇に至るまでの細やかなご注意と、「攻めながら、柔らかく、厳しく、しつかり打つ」というご指導の言葉が心に響きました。

午後の発表会では、先輩方や天道流の皆様も拝見させていただき、流派を越えた交流の場で「師に習う、自ら習う、見て習う、場に習う」の「四つの習う」の機会をいただき大変勉強になりました。先生方の熱心なご指導に心より感謝申し上げます。



新宿区 細井 優子

寒さ厳しい中、総勢50名の参加者で標記研究会が行われました。

はじめに関根先生より、家でも簡単に出て来る体操という事で目や耳から体の隅々まで動かし、感染症等にも負けないよう免疫力を高め、更になぎなたにも繋がる体の使い方などとても丁寧にご教えて頂きました。

その後各流派に分かれ、天道流は顕原先生のご指導のもと、共同練習、太刀合わせなどを行い、最後に初心者をはじめとする全員が演武を披露し、最近中々味わえなかった良い緊張感を体験し研究会を終えました。

多くの大会や研修会等が中止になる

中、ご指導下さった講師の先生方、そして谷本理事長始め係の方々がしつかりと感染症対策をし、安全に配慮してこの研究会を実施して下さった事を、心から感謝申し上げます。



合同稽古会

期日 1回 令和2年9月25日(金)

2回 令和2年10月16日(金)

3回 令和2年11月20日(金)

会場 東京武道館 大道場

参加者 各回50名

講師 吉井 美恵子 先生

谷本 良子 先生

コロナ禍で多くの稽古場が閉鎖される中、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京武道館のご厚意により合同稽古会が開催されました。



品川区 桑田 久代

多くの稽古や行事が中止されてきた中、ようやく行われた稽古会。吉井先生、谷本先生のご指導の下、「もう一度基本に向き合おう」と、一つ一つ丁寧に確認し稽古を行いました。息が上がリ、基本の難しさを改めて痛感する事にはなりましたが、何よりも久し振りになぎなたを振れる喜びを感じる事が出来ました。

今回の事で、普通に稽古が行える事が如何に幸せなのかを感じました。しかしそれによって気付かされる事も多くあり、私にとって悪い事ばかりではありませんが、私に忘れず、もっと追求していくべく更に精進を重ね、これからもなぎなたを続けていきたいと思っています。



新宿区 浅野 智一

吉井先生、谷本先生のご指導のもと、50人が集まる中、一つ一つの動作を回復し身に付け、上下振りなど皆で息を合わせて行い、時間の経過を短く感じた稽古会でした。

腕力に頼って振ってしまい、ご指導を受けることが多々ある私ですが、切先を上げるためには石突を下げ、なぎなた自身の重さも使うこと等々、普段の稽古で見失っていたことを再確認できた機会でした。

3回のうち10、11月の2回参加いたしました。平日の開催でありましたが「働き方改革」の昨今、有意義な休暇を消化できた二日でした。今後はこういった機会に男性の参加も、より進むことを期待しています。

訃報

文京区なぎなた連盟 元副会長
教士 鈴木 雅子様

令和2年6月8日ご逝去
慎んでご冥福を
お祈り申し上げます。



令和2年度 合同練習会

期 日 令和3年2月20日(土)

会 場 東京武道館 大武道場

参加者 52名

講 師 谷本 良子 先生

徳地 昌代 先生

木本 佐知子 先生

大野 みどり 先生

合同練習会は、三密を避け、換気を充分行った中で実施されました。

午前は参加者全員で、前半は防具無しで基本の打突、後半は防具を着けて基本の打突と打ち返しを練習しました。午後は三段以上と二段以下に分れて仕かけ応じを行いました。更に二段は指導法、三段以上は全日の形をご指導いただきました。



編集後記

広報誌は毎年度3回発行しお届けしてまいりましたが、令和2年度に入り皆様ご承知のように新型コロナウイルス感染拡大の影響により、都大会をはじめ各種大会や研修会等多くの事業が中止になりました。この様な状況下で、感染防止対策がなされ実施された事業を、令和2年度として1回のみとなりましたが皆様のご協力により、この度発行することが出来ました。

令和3年度が一日も早く通常に戻る事を願い、皆様のご活躍をお届けしたいと思っております。

令和2年・3年度の担当は目黒区・港区です。今後共ご協力をお願い申し上げます。

